



第12回隠岐古典相撲—背中に塩の花が咲く

総合誌

おきのしま

隠岐の島

2006
葉月
August
vol.022

OKINOSHIMA TOWN PUBLIC INFORMATION

◆人口 17,031(-32)人 男 8,086(-13)人 女 8,945(-19)人 世帯数 7,366(+1)戸
 (平成18年7月1日現在、カッコ内は前月比)

● 熱戦！ 隠岐古典相撲

第十二回隠岐古典相撲大会



7月8日(土)から7月9日(日)にかけて、隠岐空港ふれあい公園特設土俵で、新隠岐空港開港祝賀奉納第12回隠岐古典相撲大会が開催されました。

隠岐島民力士約200人による、250番余の取組が島を挙げ、夜を徹して行われました。

8日午後4時から土俵祭り(神事)を行い、午後5時の行司口上により幕開けとなりました。その後、座元・寄方それぞれの力士による顔見せ土俵入りが行われ会場は大盛り上がりとなりました。

隠岐古典相撲とは？

神社の遷宮やトンネル完工など島をあげての慶事を祝うために行われ、大人から子どもまで300番を超える取り組みが夜通し続きます。役力士の勝者には土俵の四隅に建てた柱が与えられることから「柱相撲」とも呼ばれます。同じ力士が2番連続して取り組みを行い、先に勝った方が2番目は相手に勝ちを譲り、必ず引き分けにすることから「人情相撲」とも呼ばれています。

また、お正月に飾る鏡餅のような独特の形状をした「3枚土俵」で取り組みが行われるなど、古代の相撲の面影を色濃く残した伝統行事です。

大会を開催する地元である“座元”と、これに対戦する近隣地域の“寄方”に分かれて地域同士の熱い戦いが繰り広げられます。



各地区力士の顔見せ土俵入りが終わると、最初の取組として中学生による草結が取り組まれました。

草結は、座元・寄方ともに中学生とは思えないほどの巨躯で、力いっぱいぶつかり合いました。未来の正三役大関目指して、これからも精進してほしいものです。

草結が終わると、大会の開催を祝して、『五箇少年相撲倶楽部』による相撲踊りが披露されました。

練習の成果を十分に発揮した見事な踊りに、会場からは惜しみない拍手や、たくさんのおひねりが飛び交いました。踊りを終えた子供たちは満面の笑みで土俵を後にしました。

隠岐の相撲の伝統を継承していく



激励の塩が宙を舞う

子供達の晴れ姿に保護者を始め、関係者には感極まるものがあつたのではないのでしょうか。

相撲踊りによって和やかな雰囲気になった会場で、割相撲と飛びつき五人抜きが始まりました。座元・寄方の各地区から選ばれた力士による取組が、まず中学生と、高校生・一般の二仕切り取り組まれました。

二仕切り終わると中憩となり、主催者である隠岐古典相撲大巾会を始めとする大会関係者による鏡割りが行われ、大会開催記念の枡を使って酒が振舞われました。続いて、『出雲相撲甚句会』による相撲甚句が披露され、その見事な唄に力士はもとより、観客も聞き入っていました。

相撲甚句が終わると、割相撲と飛びつき五人抜きの後半戦が始まり、一般が三仕切り取り組まれました。

割相撲と飛びつき五人抜きが夜通し取り組まれた後、9日午前7時過ぎに正五番勝負が始まりました。20代・30代・40代以上の選ばれた力士が、それぞれ緊張した表情を見せるも、真剣な面持ちで取り組み、会場を興奮の渦に巻き込みました。

正五番勝負の取組が終わると、番外三役・正三役の取組を残すのみ。まずは番外三役が座元・寄方の順で土俵入りし、それぞれの前相撲が取り組まれます。そして、役力士の迫力ある取組が始まり、観客も固唾を飲んで見守りました。



ジェット機一番乗りとなった乗客のみなさん

2,000mの滑走路を備え、小型ジェット機の就航にも対応する新隠岐空港が、7月6日(木)開港しました。当日は朝から開港を祝う式典や催しが行われ、午前10時50分には初の到着便である出雲空港発のサーブ340が、そして正午には大阪発のジェット便MD-81が到着し、新しい隠岐空港に初めて到着するジェット機をひと目見よ

隠岐の未来を拓く新たな翼

新隠岐空港がついに開港 島の振興に期待

うと、大勢の人がターミナル屋上展望台や隣接された公園の高台などに登り、目をこらしていました。

初便到着の一時前には完成式が行われました。澄田知事の供用開始宣言に続いてテープカット、その後町内保育園児によるしげさ節が披露され、新空港の開港を祝いました。

午後からは、レインボーアリーナで国・県の関係者や地権者など約200人を招いての記念式典・祝賀会が行われ、会場では蓮華会舞公演や、都万中学校生徒による銭太鼓、隠岐民謡協会による民謡などが披露されました。



ターミナルビル入口で行われたテープカット

新隠岐空港は隠岐島の地域振興と活性化、高速交通のニーズに対応することなどを目的として平成11年に着工し、総事業費345億円をかけて建設されました。先進設備と滑走路の延長により、就航率はほぼ100%となり、安定した運航が実現されています。ただ、採算性の問題から、来年もジェット機が就航するにはできるだけ高い搭乗率を達成することが必要となります。町民の皆様には、引き続きジェット機利用についてご協力をよろしくお願いたします。



元気いっぱいの踊りでお祝いました



都万中学校生徒による銭太鼓

- 新空港開港記念行事も目白押し！
- ### 8月のイベント
- ともも相撲隠岐大会
とき：8月9日(水)
ところ：空港ふれあい公園特設土俵
 - 夏祭り
とき：8月4日(金)・5日(土)
ところ：西郷港付近商店街
 - 牛突き夏場所大会
とき：8月15日(火)
ところ：隠岐モーモードーム
 - フジスポカップミニバスケット交流大会
とき：8月5日(土)・6日(日)
ところ：レインボーアリーナ
 - 第1回相撲サミット・ちゃんこ交流会
とき：8月19日(土)・20日(日)
ところ：隠岐島文化会館・武道館
 - 基句祭隠岐大会
とき：8月26日(土)
ところ：隠岐島文化会館



座元 正三役大関



寄方 正三役大関



打上げかための杯をくみかわす



ついに迎えた大一番。会場沸騰！

正三役力士が土俵に上がり、勝負の時を迎える。応援にも一層の力が入り、これまで以上に激励の塩が宙を舞います。今まで家族や地区の人から受けた恩に報いるべく、全身全霊を込めてぶつかりあいました。力と技の応酬に会場は大きな歓声に包まれました。こうして、暑い夏に夜を徹して取り組まれた熱い戦いに終止符がうたれました。全ての取り組みが終わった後は、固めの杯を交わし強い絆で結ばれます。そして、それぞれ獲得した柱・貫と栄誉を手にし、帰路につきました。18時間にも渡った大会に幕が引かれました。



相撲場が解体され、柱を持ち帰ります

隠岐の島 NEWS FLASH



地元コーラスグループの皆さんとの素敵な競演も！

夏の夜に響く 珠玉の歌声



7月1日(土)、隠岐島文化会館で、宝くじ、まちの音楽会」と題し、日本を代表するコーラスグループ「サーカス」のコンサートが開催されました。「Mr.サマータイム」をはじめとするヒット曲に加え、世界中のポピュラー音楽や映画音楽を卓越した歌唱力と極上のハーモニーでたっぷり聴かせてくれた2時間半。600人の観客は、生の迫力に酔いしれました。また、地元コーラスグループの「コールはまなす」、「隠岐少年少女合唱団」の皆さんとの競演もあり、ハートウォームな雰囲気の中で心に響く音楽会となりました。

海鳴りの音がする地で ダモイ隠岐公演

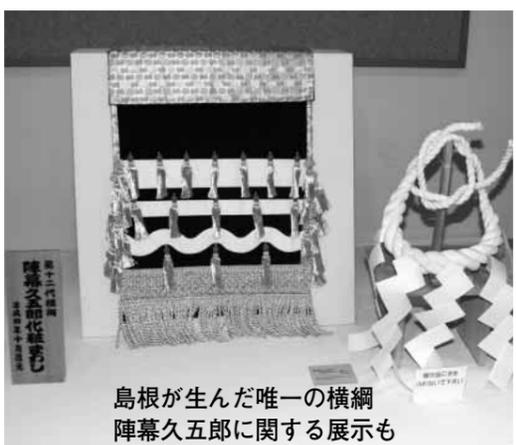
第2次世界大戦後、ソ連によりシベリアに抑留された日本人は60万人にのぼると言われています。隠岐(西ノ島町)出身の山本幡男は、厳寒の地での強制労働や飢餓など過酷な環境の中で、大きな心と豊かな想像力で、俳句会を結成。脱落しかける仲間を、俳句を通して励まし、いつの日か訪れるダモイ(帰国)の日を待ち続ける…。

7月5日(水)、隠岐島文化会館で、「収容所からきた遺書」(辺見じゅん著のノンフィクション)を原作にした舞台「ダモイ」が上演され、会場を埋め尽くした観客は、主人公山本のひたむきな姿と人間愛に強く感銘を受けていました。



名優平田満さん達の情感溢れる演技が胸にしみます

相撲のルーツを紐解く 隠岐の夏は相撲一色



島根が生んだ唯一の横綱 陣幕久郎に関する展示も

出雲神話や日本書紀の記述によると、相撲発祥の地は島根(出雲)とされています。7月1日、隠岐自然館で始まった「相撲博物館」では、江戸時代、勸進相撲で活躍した雲州力士や歴代横綱に関する貴重な資料の数々を展示しています。皆さんも相撲のルーツを紐解いてみませんか？(8月31日まで)

●相撲サミット開催間近！
全国各地で保存伝承されている相撲文化が隠岐で一堂に会する「相撲サミット」が、8月19日(土)・20日(日)、隠岐島文化会館で開催されます。作家の内館牧子氏による講演や料理の鉄人 大田忠道氏によるちゃんこ交流会なども予定されていますのでお楽しみに！

公民館コーナー

布施公民館

布施公民館講座 陶芸教室開催！



作陶(作品作り)

布施公民館では、布施のボランティア団体『和美会』との共催で、布施・卯敷・飯美の各地区で陶芸教室を開催しました。

講師には、中村の土井幸子さんをお迎えして、①作陶(作品作り)→②釉薬(ゆ



釉薬かけ

うやく)→③窯(かま)で焼く(ややく)というわぐすり) 掛け→③窯(かま)で焼く(ややく)というわぐすり) 掛け→③窯(かま)で焼く(ややく)というわぐすり)

し・鑑賞会の3回に分けて行いました。作陶では、アジサイ・フキ・びわの葉などで型取りをして、葉の模様を粘土につけながら、皿作りをしました。陶芸が初めてという方も多かったのですが、とても簡単にできて、楽しく作品作りをすることができました。

釉薬掛けでは、700度で素焼きした作品を、織部・ソバ・金茶の色が出る釉薬に浸したり、複数の釉薬を重ねて掛けたりしました。

みなさん、自分の作った作品の完成が楽しみなようで、いつごろ焼きあがるのか、どんな風に仕上がるのかなど、土井さんに質問していました。

五箇公民館

隠岐の史跡再発見の旅に出かけました

6月25日(日)、幸齢者ふるさと学園事業で、五箇地区から西廻りに、神社仏閣の史跡にまつわる歴史再発見の旅に出かけました。

訪問先は、長尾田の白山神社、那久の光山寺と都万の天健金草(アマタケカナカヤ)神社、下西の玉若酢命神社でした。講師の村尾秀信氏により、史跡にまつわる祭礼や行事の由来が詳しく紹介されました。



流人の墓を建てた村人の人情話(光山寺)

長尾田の白山神社は、小さいながらも隠岐造りの本殿、そして古えから伝わる百手(モモチ)祭、祭りに重要な意味を持つ玉網振り(タモフリ)等について、那久の光山寺は、小野 篁(たかむら)の配流地として、また阿古那姫との悲恋物語、流人の墓にまつわる隠岐人の人情話について、都万の天健金草神社は、祭られている塩作りの神様と都万の気候風土について、下西の玉若酢命神社は、総社と御霊会風流、八百杉の由来について、また国指定重要文化財の本殿、旧拝殿等について解説がありました。

興味深い解説の数々に参加者からは次々と質問が寄せられ、新たな歴史の発見に感嘆の声が上がっていました。

私たちの学校は、歴史ある古い木造校舎です。「冒険の森」や「探検の森」があって、自然がいっぱいです。児童数は減ってきて、今年度は93名です。異学年の交流が盛んで、仲良く楽しく学校生活を送っています。

学校には、チャボや烏骨鶏がいます。卵は全校でゆで卵にして食べています。それから「五箇青龍」という牛もいて、牛突き大会に出場しています。



わたしたちの学校



五箇小学校



楽しい行事もあります。児童会が中心になって、高齢者や幼児を招待して「ふれあい運動会」を行ないます。それから、5・6年生が田植えや稲刈りをしたもち米を使って、全校親子もちつき大会もしています。地域とのつながりも多く、相撲大会や寒げいこにも参加しています。

ホームページでも学校の様子を紹介していますので、ご覧下さい。

五箇小学校6年生一同

五箇小ホームページアドレス
http://fish.miracle.ne.jp/gokasyou/

まなびのひろば

隠岐の島町教育委員会
TEL 08512-2-2206
Mail okidogo@mx.miracle.ne.jp

ニュージーランドにはことわざがあります。

“He aha to mea nui ?

He tangata. He tangata. He tangata.”

意味は、「人生の一番大切なものは何ですか？それは人、それは人、それは人」です。

隠岐に来たとき、心配だったのは、日本語が話せないで、一人ぼっちになるのではないかとことです。でもすぐに、言葉の壁よりも親切な心の方が勝るとわかりました。隠岐の人たちは、私に特別に親切で、へたな日本語にも辛抱強く、つきあってくれました。特に感謝したいのは、おいしい日本の食べ物をご馳走してもらったことです。隠岐で1年間生活できたのは、本当に幸運でした。隠岐を去るのは悲しいけれど、たくさんの楽しい思い出ができました。8月からは浜田で生活します。隠岐のように親切で辛抱強く、やさしい人と出会うのが楽しみです。色々良くして頂き、本当にありがとうございました。皆さんとお別れするのはつらいですが、さようなら。皆さんもお元気で。



ドナ・ボニーフェイス

A shirt from New Zealand



まだやりたいことがたくさんありましたが、隠岐の島町での最後の1年は、あっという間に終わりました。私は外国語指導助手（ALT）としてのこの2年間で色々な体験をして、たくさんの人と出会うことができ、良かったです。

多くの人に手伝ってもらい、親切にしてもらったことは忘れません。日本に来てから色々な事を知り、ここで過ごした時間のおかげで私は成長しました。島の景色はすごくきれいで、生徒はとても人なつこく感じました。隠岐の島の美しさや優しい生徒たちの顔を見ることができなくなるのは寂しく思いますが、生徒が英語や外国語の物事を学ぶことを少しでも楽しんでくれたらうれしいです。隠岐の島の皆様、この2年間本当にありがとうございました。日本に住んでいた時間は忘れられないです。

エリザベス・シャーム

としよかん

隠岐の島町立図書館
電話 08512-2-2341
FAX 08512-2-9198
メール s-tosho@mx.miracle.ne.jp

開館時間 10時～18時
最終金曜日は14時開館
閉館日 (月曜日・第3日曜日・祝日)
祝日が月曜、第3日曜と重なった場合は翌日も閉館

7月1日(土) 図書館研修室で「たなばたまつり」があり、約80名の子供たちの参加がありました。今回は中国国際交流員の曹建紅さんに、中国に古くから伝わる「不思議な鏡」というおはなしをしていただきました。曹さんには流ちょうな日本語で、手作りの絵が書かれたパネルを使いながら、子供たちにもわかりやすく楽しいおはなしをしていただきました。

また、影絵グループかげぼうしのみなさんによる「八尾川のかっぱ」の上演もありました。隠岐のおはなしということで、語りは全て隠岐弁で進行し、内容も身近に感じることができるものだったので子供たちも興味深く見ていました。



曹さんによるおはなし「不思議な鏡」

また、おしまいに影絵の舞台裏を特別に見せていただき、手のこんだ影絵のしかけを見て、子供たちも驚いていた様子でした。

～ 図書館豆知識 ～

■ 図書館の新聞について ■

Q. 図書館ではどのような新聞をとっていますか？

A. 図書館では現在、朝日新聞・山陰中央新報・産経新聞・日本経済新聞・中国新聞・日刊スポーツ・毎日新聞・読売新聞の8紙をとっています。また、今は発行されていない隠岐公論(昭和37年～昭和59年)や隠岐新聞(昭和63年～平成9年まで)もあります。自由に閲覧できますのでご利用ください。

Q. 新聞はどのくらいの期間保存していますか？

A. 隠岐の島町図書館の新聞の保存期間は3年です。それ以前のものについては、島根県立図書館からコピーを取り寄せることができます(有料)。ただし、ご依頼の際には必要な記事の新聞名、年月日、記事内容について詳しく教えてください。

Q. コピーをとることはできますか？

A. できます(1枚につき10円)。ただし、当日発行のものについては、著作権の関係上できかねます。

その他、新聞について何かご質問等ございましたら図書館へ直接お問い合わせください。

島根県古代文化センター 出前講座のお知らせ

島根県立古代出雲歴史博物館が、平成19年3月10日出雲大社東隣にオープンします。このオープンに先立ち、島根県古代文化センターでは、島根の歴史についてのベーシックな話題を中心とした出前講座を行っています。この度、隠岐自然館で開催中の「隠岐に集う歴代横綱と雲州力士展」にあわせて、下記の講座を実施します。是非、ご聴講ください。

日時 平成18年8月5日(土) 18:00～19:30

場所 隠岐島文化会館 2階会議室

講師 島根県古代文化センター 主任研究員 増田 浩太

その他 参加申込は不要です。問い合わせ 島根県古代文化センターTEL0852-22-6727

演題：青銅の輝きと弥生人

町の元気印 第4回 めむ 服部芽夢さん

今回の元気印は、この町の水泳の期待の星、西郷南中学校1年生 服部芽夢さん(今津)です。あどけなさが残るかわいい笑顔の彼女ですが、ひと度競泳着に着替えると周りの大人も惚れ惚れするスイマーに変身。水泳を5歳で始めた頃には、言い訳をして休んだこともあったといいますが、練習を重ね全種目(泳法)で泳げるようになった頃には、泳ぐことの楽しさがわかってきたとか。小学校の時には中国大会でも活躍した彼女は、中学生になり誘われた部活動も断り、現在水泳一筋。中学生の水泳仲間がいないことは残念ですが、全国大会をめざして毎日頑張っています。最後に芽夢さんからのメッセージ「泳げるようになった時の感激は最高です。」

大活躍を願ってます。がんばれ芽夢さん。目指せ隠岐初全国大会出場スイマー!



中村地区 十津川高校生が中沼了三
生誕の地を訪問

7月6日(木)、奈良県十津川高校生徒の皆さん34名が、昨年に引き続き同校の創設者である儒学者・中沼了三生誕の地、中村を訪問しました。了三は1864年、孝明天皇の命で十津川に文武館(現在の十津川高校)を創設しています。あれから140年間以上もの年月が経過していますが、34名の生徒は顕彰碑の前で、十津川郷民として力強く挨拶していました。また、生徒たちは訪問の証とし



訪問を歓迎する顕彰会

て世間様の幼木を植樹し、近くの古民家(佃屋)では五箇小学校の村尾秀信校長の講話を熱心に聞きました。さらに、顕彰会のメンバーは、生徒たちを中村の海岸に案内し、サザエのつば焼きをご馳走。つば焼きは初めての生徒たちもいて、楽しみながら中沼了三生誕の地を後にしました。長くこの交流が続き、「武良興し」にも繋がる事を全員が期待しています。



サザエのむき方講習もしました。

7月4日(火)、布施小学校で交通安全講習が開かれました。参加した24名の児童たちはお巡りさんから自転車を運転するときの基本、心構え、注意しなければならぬことなどを教わったあと、さつそく街頭に出て、路上走行で正しい乗り方ができるよう真剣に取り組んでいました。



布施地区 安全講習&海岸清掃



また、翌日には、布施中学校の生徒も加わり、夏本番を前にして卵敷・布施・飯美地区の海岸清掃奉仕作業を行いました。地域の方も手伝いに見えられ、2トン車1台分のゴミを回収しました。

まず、身近な環境から考え、活動していくことはとても大事なことです。ひとりひとりが環境美化に心を留め、空き缶、タバコのポイ捨てなどなくなつてほしいものです。

五箇地区 楽しいふれあいの場になりました



舞台上に体験コーナーなど、子供たちが大活躍!

7月2日(日)に隠岐の島町地域福祉センター(北方)で「デイサービス・子どもまつり」が開催されました。これは、ふれあい五箇がデイサービスを利用する方や地域の子ども達に交流の場を提供する事業で、今年で9回目を迎えます。

当日は、大勢の入場者があり、施設は大賑わいの1日となりました。

子ども達は進行も自ら行い、幕間にはお客さんと対話するなど会場がなごやかな雰囲気につつまれました。

体験コーナーでは、陶芸や手芸が体験でき、オリジナルの皿づくりなどを体験したり、古着マーケット、リサイクル市のコーナーは掘り出しもの目当てに多数の人がつめかけました。

子ども向けには、「ダーツ」や「ヨーヨーつり」も準備され、盛んにチャレンジする小さな子どもも見られました。

お腹が減ったら「屋台いろいろ」ということで、焼きそば、ハンバーグ、かき氷など盛りだくさんの品が安価で販売され、入場者のお腹を満たしました。

なかでも、玄関前での「うめん流し」は好評で、流れてくるそうめんに涼しさともにおいしさを味わいました。

施設のあちこちで歓声が聞こえ、笑顔が見られた暖かい手づくりイベントは、子ども達と地域の皆さんの最高の「ふれあいの場」となりました。

6月11日(日)都万地区油井の池で隠岐自然倶楽部の八幡浩二さんを講師に迎え、自然観察会が行われました。

油井の池は30余種のトンボや希少植物などが生息する自然の宝庫で、当日には絶滅の危機に瀕している種(絶滅危惧I類CREN)のコバネアオイトトンボ等の昆虫や植物も目にする事が出来ました。



観察会の後には油井地区有志の皆さんの手作りのサザエご飯とアゴ団子の吸い物が振る舞われ、約15名の参加者の心地いい疲れを癒してくれました。

次の自然観察会も計画中です。隠岐の自然を知りたい機会です。是非参加してみませんか?

都万地区 油井の池で自然観察会

● 70歳以上または老人保健で医療を受ける人の所得判定基準（平成18年8月から）

所得に応じて自己負担割合などが異なります。そのうちの一定以上所得者（現役並み所得者）および低所得Ⅰの判定基準が変わりました。



◆ 一般 「一定以上所得者」、「低所得Ⅱ」、「低所得Ⅰ」のいずれにも該当しない人にあたります。

◆ 一定以上所得者（現役並み所得者） 同一世帯に課税所得が145万円以上の70歳以上の人または老人保健で医療を受ける人がいる人。

ただし、70歳以上の人および老人保健で医療を受ける人の収入の合計が、2人以上の場合は520万円未満、1人の場合は383万円未満であるときは、「一般」の区分と同様に、1割の負担となります。

◆ 低所得Ⅱ 同一世帯の世帯主および世帯員全員が住民税非課税の人。

◆ 低所得Ⅰ 同一世帯の世帯主および世帯員全員が住民税非課税で、その世帯の各所得が必要経費・控除（年金の所得は80万円として計算）を差し引いたときに0円となる人。

※ 低所得Ⅰ、Ⅱの方は入院の際に「限度額適用・標準負担額減額認定証」の申請が必要となります。

● 療養病床に入院する場合の食費・居住費の負担が変わります

療養病床に入院する70歳以上の人は、これまで食料費相当のみを負担していましたが、今回の改正で食費と居住費を負担することになります。

平成18年9月30日まで
食料費相当を負担
24,000円（月額）

平成18年10月1日から
食費 42,000円
居住費 10,000円（月額）

● 所得の低い人は負担が軽減されます。
食費・居住費負担額（月額）

住民税非課税世帯	30,000円
年金受給額80万円以下等	22,000円
老齢福祉年金受給者	10,000円

※ 人工呼吸器、中心静脈栄養等を要する患者や、脊髄損傷（四肢麻痺が見られる状態）、難病等の患者については、現行どおり食料費相当24,000円のみ負担となります。

平成18年10月から国民健康保険・老人保健が変わります

70歳未満の人

● 高額療養費の自己負担限度額が変わります

平成18年9月30日まで

自己負担限度額（月額）

	3回目まで	4回目以降※3
一般	72,300円＋ 医療費が241,000円を超えた場合は、その超えた額の1%を加算	40,200円
上位所得者※1	139,800円＋ 医療費が466,000円を超えた場合は、その超えた額の1%を加算	77,700円
住民税非課税世帯	35,400円	24,600円

平成18年10月1日から

自己負担限度額（月額）

	3回目まで	4回目以降※3
一般	80,100円＋ 医療費が267,000円を超えた場合は、その超えた額の1%を加算	44,400円
上位所得者※2	150,000円＋ 医療費が500,000円を超えた場合は、その超えた額の1%を加算	83,400円
住民税非課税世帯	35,400円	24,600円

※1 基礎控除後の総所得金額が670万円を超える世帯。（平成18年9月30日まで）

※2 基礎控除後の総所得金額が600万円を超える世帯。（平成18年10月1日から）

※3 過去12ヶ月間に、一つの世帯での支給が4回以上あった場合の4回目以降の限度額。

● 人工透析を要する上位所得者の自己負担限度額が変わります

慢性腎不全で人工透析を要する上位所得者については、自己負担限度額が、月額1万円から2万円に引き上げられます。

平成18年9月30日まで
10,000円

平成18年10月1日から
20,000円

70歳以上の人

● 一定以上の所得がある人の自己負担割合が変わります

70歳以上または老人保健で医療を受ける人のうち、現役並みに所得のある一定以上所得者は、医療機関に支払う自己負担割合が引き上げられます。

平成18年9月30日まで	一定以上所得者 2割 一般、低所得Ⅰ・Ⅱ 1割
--------------	----------------------------

平成18年10月1日から	一定以上所得者 3割 一般、低所得Ⅰ・Ⅱ 1割
--------------	----------------------------

● 高額療養費（高額医療費）の自己負担限度額が変わります

平成18年9月30日まで

自己負担限度額（月額）

	外来（個人単位）	外来＋入院（世帯単位）
一般	12,000円	40,200円
一定以上所得者	40,200円	72,300円＋ 医療費が361,500円を超えた場合は、その超えた額の1%を 加算 (4回目以降の場合40,200円)
低所得Ⅱ	8,000円	24,600円
低所得Ⅰ		15,000円

平成18年10月1日から

自己負担限度額（月額）

	外来（個人単位）	外来＋入院（世帯単位）
一般	12,000円	44,400円
一定以上所得者	44,400円	80,100円＋ 医療費が267,000円を超えた場合は、その超えた額の1%を 加算 (4回目以降の場合44,400円)
低所得Ⅱ	8,000円	24,600円
低所得Ⅰ		15,000円

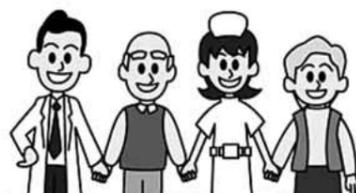
老人保健で医療を受けている方へ

住民税非課税世帯に属する方は

- 入院時一部負担金
- 入院時食事代

が減額されます。

減額の適用を受けるためには、申請が必要です。



■お問い合わせは■

役場 本庁	町民課国保年金係	2-8560（課直通）
布施支所	総務課住民係	7-4311（代）
五箇支所	総務課住民係	5-2211（代）
都万支所	総務課住民係	6-2311（代）

2006年8月

隠岐の島町行事予定

日	月	火	水	木	金	土
7/30	7/31	1 大満寺山教育キャンプ (~6日まで)	2	3	4 JALバスケットボール部 "ラビッツ" 公開練習 14:00~ 夏まつり (~5日まで)	5 フジスポカップ ミニバス交流大会 (レインボーアリーナ ~6日まで)
6	7	8 こども相撲隠岐大会 8:30~ (空港ふれあい公園 特設相撲場)	9	10	11	12
13	14	15 牛突き夏場所大会 (隠岐モーモードーム) 14:00~ 西村神楽 20:30頃~翌朝4:00頃 成人式	16	17 人権相談 13:00~16:00 (文化会館)	18	19 第1回相撲サミット (前夜祭) 19:00~20:20 (文化会館)
20 第1回相撲サミット 9:00~17:30 (文化会館) 隠岐ちゃんこ交流会 18:00~20:00	21	22	23 人権相談 13:00~15:00 (中老人福祉センター)	24	25 隠岐法律相談 13:00~15:00 (文化会館) ごんせカップ 少年野球交流大会 (~27日まで)	26 甚句祭隠岐大会 (文化会館) 19:00~21:00
27 隠岐JAZZ騒動 日野皓正LIVE 18:00~ (文化会館) 第34回島後 バスケットボール大会	28	29	30 年金相談 13:00~16:30 (ふれあいセンター)	31 年金相談 9:30~12:00 (ふれあいセンター)	9/1	9/2

各種相談窓口

児童・女性・母子相談：：隠岐福祉事務所 TEL 2-9810 平日8:30~17:00
 生活保護相談：：隠岐福祉事務所 TEL 2-9708 平日8:30~17:00
 保健所相談窓口：：隠岐保健所 TEL 2-9701
 島根いのちの電話：：毎日 9:00~22:00 社会福祉法人島根いのちの電話事務局 TEL 0852-32-5985
 警察の相談窓口電話：：被害者相談 TEL 0120-556-491
 　　　　　　　　　　　　　　　悪質商法 TEL 0852-27-4649
 　　　　　　　　　　　　　　　性犯罪 TEL 0120-110-267
 　　　　　　　　　　　　　　　ストーカー TEL 0852-24-9110

隠岐法律相談窓口予約受付：：TEL 0852-21-3450
 ※前日17:00までに予約が0件の場合は開催しませんのでご了承ください。

お気軽に
ご相談下さい!!



平成18年度人材育成支援事業の募集について

島根県離島振興協議会では、隠岐全域に波及効果のある島づくり活動をバックアップする目的で、人材育成支援事業を募集しています。

対象となる事業は、隠岐島全域に波及効果のある人材育成に関する事業で、助成金額は、事業費の2分の1以内で1事業につき100万円が限度です。

募集期間
 平成18年7月10日~9月11日

お問い合わせ先
 島根県離島振興協議会
 電話 219698

全国一斉「子供の権利110番」電話相談について

法務省人権擁護局及び全国人権擁護委員

隠岐の島町ホームページにも募集要項、申請書様式等を掲載しています。

連合会においては、子どもをめぐる人権問題に積極的に取り組むことを目的として、8月28日(月)から9月3日(日)までの7日間を、全国一斉強化週間と定め、島根県においても、下記の通り電話相談を実施することになりました。

実施期間
 8月28日(月)~9月3日(日)
 午前8時30分~午後6時30分
 ただし、土曜日・日曜日は午前10時から午後5時まで
お問い合わせ先
 「子どもの権利110番」

電話 0570・070・110
 主催者 松江地方務局
 島根県人権擁護委員連合会

盲学校・松江ろう学校 合同相談会のお知らせ

目のこと、聴こえやことばについて、気にかかっていることはありませんか? お気軽にご相談下さい。

開催日
 8月22日(火) 9時30分~15時
会場
 隠岐島文化会館1階楽室
お問い合わせ・お申込先
 島根県立隠岐養護学校
 電話 213593 担当・齋賀

交通遺児・被害者の方へ 育成資金等の支給のご案内

交通遺児等育成資金貸付のご案内
 独立行政法人自動車事故対策機構では、自動車事故により死亡された方、または重度の後遺障害になられた方のお子様(0歳から中学生まで)に対して次の条件で「無利子」の育成資金をお貸ししています。

貸付金額
 お子様を扶養されている保護者

(お子様一人につき)
 はじめに一時金 15万5千円
 貸付期間中、毎月 2万円
 小中学校入学時に入学支度金 4万4千円
貸付期間 貸付が決定した月から中学校卒業の日まで
返還期間 中学校卒業後、一年据え置いてから月賦等による20年以内の均等払いで返還。ただし、高校、大学等へ進学した場合、在学中は返還猶予

子育て応援パスポート「こっころ」スタート!

■申請はお済みですか?
 子育て応援パスポート「こっころ」が7月3日スタートしました。18歳未満のお子様がいいらっしゃる家庭及び、妊婦さんで申請がお済みでない方はいらっしゃいませんか? 下記の窓口で即日交付します。協賛店でパスポートを提示すると独自のサービスが受けられます!

【申請窓口・お問い合わせ】
 役場本庁子育て支援課 2-8577
 布施支所健康福祉課 7-4311
 五箇支所健康福祉課 5-2211
 都万支所健康福祉課 6-2311

■しまね子育て応援パスポート 協賛店舗募集!

隠岐の島町の協賛店を募集しています。協賛店独自の創意工夫したサービスを提供して、子育て世帯を応援しませんか?
 例:商品の割引、景品、子育て情報の提供、職業体験など

【募集期間及び問い合わせ先】
 募集は随時行っています。
 島根県少子化対策推進室
 TEL: 0852-22-6475

■重度後遺障害者介護料支給のご案内
 自動車事故によって頭部または脊髄に損傷を受け、重度の後遺障害を残し、常時または随時介護を要する方へ次の要領で介護料を支給しています。

受給資格者 自賠責認定通知書が一級一号・二号、または二級一号・二号の方(平成14年3月31日以前については、一級三号・四号、または二級三号・四号の方)およびこれと同等であると機構が判断した方
申請者 受給資格者の法定代理人または扶養している方
介護料 月額29,290円~136,880円の範囲で症状に応じて
支給期間 申請書類を受理した月から介護料を支給する事由が消滅した月まで
お問い合わせ
 松江市母衣町55松江商工会議所ビル内
 独立行政法人自動車事故対策機構島根支所
 電話 085212514880

七変化

布施の道路沿いに、あじさいが見事に咲いています。あじさいは、その華やかさで梅雨のうっとうしさをいくらか和らげてくれます。



省エネしまじょうじ!

夏はエネルギー消費が増加する季節です。冷房中の室温は28℃を目安に、過度にならないように適切に調整する等の省エネルギー対策を実践しましょう。

■夏の省エネ

- ・家電品の中で特に消費電力のウエイトが高いのがエアコンと冷蔵庫で、家庭の消費電力の約40%を占めています。
- ・冷房は、室温28℃を目安に温度調節をしましょう。また、冷房機器は、不必要なつけっぱなしをしないようにしましょう。
- ・冷蔵庫の庫内は季節に合わせて温度調節を行い、ものを詰め込みすぎないように整理整頓しましょう。
- こまめに省エネしましょう
- ・電気ポットなどの電気製品を長時間使わないときには、コンセントからプラグを抜くようにしましょう。
- ・煮物などの下ごしらえは電子レンジを活用しましょう。



大峯山の風力発電所は、約1,500世帯の電力をまかっています

総合誌隠岐の島8月号

(通算第22号)

■編集・発行

隠岐の島町役場総務課広報広聴係
〒685-8585

島根県隠岐郡隠岐の島町城北町1番地
TEL(08512)2-2111 (代表)
FAX(08512)2-6005

■ホームページ

<http://www.town.okinoshima.shimane.jp/>

■Eメール

jouhou@town.okinoshima.shimane.jp

一・月・一・話

「塩などは安いもんだと若秩父」

豪快な塩まきで知られた大相撲の元関脇、若秩父を読んだ川柳です。昭和30年代に活躍した力士で、ご記憶の方も多いのではないのでしょうか。

7月8日から夜通し行われた隠岐古典相撲では、約1トンもの塩が使われたそうです。大相撲で使われる塩の量が1日45kg、15日間で約650kgといえますから、若秩父もびっくりの大盤振舞い。地域の期待と名誉を一身に背負って土俵に上がる力士には、土が白くなるほどの塩をもって激励するというのが礼儀なのかもしれません。まさに「塩などは安いもんだ」というわけですね。

さて、古典相撲は終わりましたが、大相撲では隠岐の島町出身の福岡・竹谷の2人の若者が厳しい世界でがんばっています。

彼らにとっては隠岐の島すべてが座元であり、寄方です。実際に塩をふることはできなくても、故郷の期待を背負う彼らの背中也、心の塩を両手一杯振りまいて後押ししてあげたいものです。

(安)